

本日開催

ふくやま人権大学プレゼンツ !!

人権文化を考える

- 幸せを運ぶ人形たち -



*阿波木偶「三番叟まわし」

お 話

辻本 一英 さん

(芝原生活文化研究所代表)

人形実演

阿波木偶箱まわし保存会

日 時 12月9日(日)

午後2時55分～午後3時55分

※スケジュールが多少前後する場合があります。

場 所 福山市人権交流センター1階ホール

あわでこほこ ほぞんかい
阿波木偶箱まわし保存会

阿波木偶箱まわし保存会は、阿波木偶「三番叟(さんばそう)まわし」や街角で人形芝居を演じた「箱廻し」をはじめ、徳島県独特の祝福芸や門付け芸等の無形民俗文化財調査研究を目的として1995年に発足。東みよし町の「三番叟まわし」芸人に弟子入りし正月の門付けに3年間同行して技術を習得。2002年から師匠の門付け先を受け継ぎ徳島県内で門付けを行っている(2018年現在1000軒)。また、「三番叟まわし」「箱廻し」「えびすまわし」「大黒まわし」等の調査・伝承活動にとりくみながら、国内外で講演・公演を行う。



(芝原生活文化研究所・阿波木偶箱まわし保存会ホームページより)

ふくやま人権大学

って？



ふくやま人権大学は、2006年から毎年開催しており、今年で13年をむかえました。人権文化が根付いた地域社会の実現へ向けて、「人権」について体系的に学習し、さまざまな角度から啓発内容を創造することのできる地域リーダーの養成を目的に行っています。

～2018年度の講座内容をご紹介します～

講座スケジュール

8月	開講式・講演会
9月	ゼミ開講 同和問題入門ゼミ
10月	子どもの人権ゼミ
11月	スポーツと人権ゼミ
12月	閉講式・講演会
随時	特別講座「1UPゼミ」

統一テーマを「共に生きる」とし、9月から3つのゼミを実施しました。同和問題入門ゼミ「新たな出会い 見つけませんか。同和問題を考える」では、同和問題について知らない方や、もっと深く知りたい方を対象に若者の意見を交えながら学び合いました。子どもの人権ゼミ「子どもの“生きる力”になれるゼミ」では、さまざまなマイノリティーや社会的経済的に弱い立場にある子どもたちの現状や人権問題に向き合う子どもに学び地域において担えることは何かを考え合いました。スポーツと人権ゼミ「スポーツのPRIDE」で

は、車いすバスケットボール体験やスペシャルオリンピックス等について学び、スポーツと人権のかかわりについて学び合いました。今年度は終了しましたが、来年度も開催予定ですのでぜひご参加ください。

ふくやま人権大学 と ^{ひやま あや} 檜山 文さんの絵 がコラボした 人権啓発ステッカーが出来ました！

自分で守ろう！ 個人情報！ 登録しよう！

登録型本人通知制度

現在、住民票や戸籍謄本などの不正取得により、個人の人権が侵害された事件が発生しています。

そのため福山市では、防止・抑止するため、代理人や第三者へ証明書を交付したときに、事前に登録した人へ、その事実をお知らせする制度を2013年2月より実施しています。

○登録できる人

福山市に住民票または戸籍がある人（過去にあった人を含む。ただし、死亡した人、失踪宣告を受けた人を除く。）

○登録手続き…受付窓口などで申請

※本人確認書類（運転免許等）が必要です。

○受付窓口 本庁市民課、各支所市民課

○問合せ先 本庁市民課 928-1058, 918-1059

～檜山 文さん プロフィール～

小さい頃から、小学校の先生になるのが夢でした。教育実習に行き、教科を教えるより子どもとふれあう時間を大切にしたいと思い、放課後児童クラブの指導員になりました。

指導員として子どもたちとふれあいながらも、何かほかにできることはないかと求めるようになり、その頃から、ふと言葉とイラストが思い浮かぶようになったのです。そして、それを形にし始めました。

幸せがたくさん広がってほしい。そして、イラストを通してたくさんの方と繋がっていききたいという思いで、活動し、書き下ろし、ウエルカムボード、表紙イラスト、挿絵、壁画、ライブイベントなど「ありがとうの気持ち」「希望」を多くの人に伝えてきました。

見る者を笑顔にする作品と人柄で今も愛されてやみません。

2014年11月29日永眠（享年35歳）

檜山 文さんホームページより